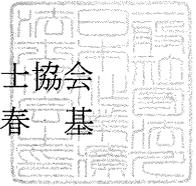


平成 26 年 3 月 3 日

厚生労働省 医政局 医事課
試験免許室長 岡田 安正 様

一般社団法人 日本作業療法士協会
会 長 中 村 春 基



第 49 回作業療法士国家試験実施について（意見）

謹啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

日頃から、日本作業療法士協会の活動にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、平成 26 年 2 月 23 日に実施されました第 49 回作業療法士国家試験の実施につきまして、作業療法士養成施設から意見がありましたので下記に記載いたします。次年度の作業療法士国家試験実施の参考にして頂けましたら幸甚と存じます。

謹白

記

1. 試験監督者の対応について（立教大学池袋キャンパス）

試験監督者の指示と対応が受験者に困惑などをもたらした。昨年も試験監督者の対応の問題が上がっていたことより、改善を求めたい。

例：

- 1) 試験監督から説明された「現在の時刻」が多数学生の時計の時刻より 5 分進んでいた。しかし、実際には学生の時計の時刻通り実施されたことにより、多くの学生が試験の開始時刻および終了時刻について困惑した。
- 2) 試験中に試験監督者が教室内を走って移動する場面や監督者間でのやり取りや連絡が不十分な場面が見受けられた。
- 3) 膝掛けや目薬などの使用許可について、誰に対応を求めて良いかがわからなかった。また、説明が聞き取りにくかった。